

# Q ポイ捨てに罰則を

津田 紘吏 議員

## A 罰則は最後の手段

市長

Q 当市もポイ捨て禁止条例はあるものの、各地でタバコ・空き缶等のポイ捨てが目につきま

A モラル向上を考え、ボランティア、市民の協力を得て趣旨をPRするなど、粘り強く訴え、目的を達成したい。

Q 軽い病気等の児童保育が実施されずと、勤めを持つ母親は大変助かります。少子化対策の一環として必要と思われる。市長のお考えは。

A この事業を進めるには、設備、看護師、保育士などの課題に加え、医師会との協議を必要とする。今後、医師会の意向を踏まえ、小児科医の協力のあり方や問題点等、慎重に検討していく。



▲中田港周辺でのゴミ回収作業

# Q 観光振興に一層の努力を

浜西 金満 議員

## A 公約通り力を入れる

市長



▲たくさんの見学者が訪れる海上自衛隊第1術科学校

Q 旧江能4町の観光協会が合併し、江田島市観光協会が発足した。市長の施政方針の中で、特に観光レクリエーションの振興の中で、観光情報発信事業と地域イベント実施事業に力を入れています。具体的な施策

A 私も公約の一つとして、観光には力を入れていきます。観光情報発信事業では、4つの町の合併に伴って点在する各観光施策の観光ルートづくりの完成を目指しています。

イベント実施事業では、旧4町の事業を継続していき、合併による効果で相互協力をして、農業・水産業を含めて各産業の振興、地域の活性化に最大限の努力をしていきます。

# Q 退職前特別昇給は廃止を

山本 信勝 議員

## A 廃止の方向で協議

市長

Q 地方公務員の給与は、地方自治法・地方公務員法の趣旨に沿って、適正な給与水準が維持・管理されることは当然であり、職員給与費は住民の税負担によって賄われている事実を考えると、

A 本市は合併前の事務調整において、「本制度については、合併後、新市において検討する」ことで調整がなされ、20年以上勤務して退職する場合に市長の承認を得て、上位の号給に昇給できる

Q 地方公務員の給与は、地方自治法・地方公務員法の趣旨に沿って、適正な給与水準が維持・管理されることは当然であり、職員給与費は住民の税負担によって賄われている事実を考えると、

A 規定しているのが現状です。本年度は国・広島県ともに廃止、県内の他の市においても廃止されており、本市も、廃止の方向で職員団体と協議を進めます。



▲多くの職員が勤務する新市の仮本庁舎

# Q 交通安全対策に力を

梅比良 修 議員

## A 啓発活動等に努力

市長



▲6車線が複雑に交差する大柿町大原交差点

Q 市内大柿町大原交差点は旧道を含め6車線で複雑な路線です。死亡事故、接触事故は度々あります。小学生の通学路にもなっているが、他方面からの車も増えて、年々交通量が増えている。できれば専門家による

A この交差点は、江田島市の中でも交通量が非常に多く、複雑な交差点でありながらご指摘のように通学路の併設をしている。この交差点で

は過去2件の死亡事故が発生しており、過去5年間は8件の交通事故が発生し、亡くなられた方が1名、けがをされた方が9名おります。現在、江田島警察署に対し、現地調査をお願いしている。今後も警察署の指導の

もとに、交通安全指導の重点地域として、交通安全対策会議を中心に交通安全協会、保護者会等と連携をとりながら交通指導、交通安全の啓発活動等、「住みよい江田島市」実現に努力する。